

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

9月17日〜18日、親子旅行を実施しました。1泊旅行がこれまで実施しない年が続きましたが、「また、以前のように1泊の



障害者支援施設 拓光園グループ

念願の東京デイズニールランド

1泊親子旅行

旅行に行きたい」と多くの希望が寄せられ、今年度久しぶりに実施することになりました。実に7年ぶりとなる1泊旅行の行先は、オリンピック開催が決定したばかりの東京でした。

「新青森駅」から乗ったことがなかった新幹線「はやて」に乗り、スピード感あふれる車窓からの風景に魅了されて東京までの時間はあっという間に過ぎました。

待ちに待った「東京デイズニールランド」へ到着し、テレビや雑誌で見た夢のような光景が目の前に広がっていました。心躍る皆さんは、キャラクターと記念撮影をしたり、アトラクションを満喫したりと思いに楽しんで時間を過ぎ、パーク全体の華やかな雰囲気

に満面の笑顔ばかりでした。二日目には「東京スカイツリー」へ

行き、634mの圧倒的なスケールを目の当たりにしました。展望台では、台風一過の秋空のもと、眼下に広がる首都のパノラマに酔いしれました。

利用者さんに感想を聞くと、「夢にまで見ていたデイズニールランドに行けてうれしい」「スカイツリーに登ると高層ビルもおもちゃみたいだ」などと興奮し話されていました。

帰路は飛行機に乗って空の旅です。名残惜しくも東京に別れを告げ、見慣れた景色が私たちの帰りを迎えてくれました。

7年ぶりの1泊親子旅行は大成功に終わり、とても楽しい思い出を作ることが出来ました。これからもぜひ続けていきたいとの願いが聞かれています。



特別養護老人ホーム サンアップグループ

祝 敬老

平成25年9月16日(敬老の日)特別養護老人ホーム『サンアップホーム』では「平成25年度敬老会」が行われました。敬老会式典は、50人余りのご家族と、家族会役員の皆様、当法人の大平和夫理事長をはじめ、各施設長が列席されて厳かな中にも和やかに行われました。

今年、90歳以上の方が、23名。最高齢は、99歳の小山内とめさんで



す。

小山内さんは、大正2年生まれで、11月の誕生日では満百歳になります。小山内さんが生まれた時代は、大正浪漫と言われるような華やかで自由な風潮でありながら、第一次世界大戦や関東大震災があった激動の時代です。弘前市で、大正を探してみると、『高砂』のお蕎麦屋さんや、『しかないせんべい』さんが、大正2年の創業です。そして、20代、30代の頃は、戦中と戦後。若い小山内さんは、どのように生きてきたのでしょうか。大変なご苦労、もちろん楽しい事も沢山あったと思います。

高齢者の皆様、一人ひとりには、それぞれの歴史があります。私達は、現在の利用者さんの支援をしています。今、今の姿ばかりを追うのではなく、その方々の生きた時代背景を受け止め、敬意感謝したいと思います。祝・敬老。

障害者支援施設 山郷館くろいしグループ

移動式高床畑

『山郷館くろいし』では毎年決まっています。これまでは裏庭の花壇を利用して野菜や花を育てていましたが、車



椅子を使用している方が多くできる作業も限られていました。

大好きな園芸を行うにあたって車椅子に合わせた高さで作業ができるようになれば、野菜の成長を眺め、育てられると、皆の笑顔を想像しながら今年行った工夫はというと・・・

山郷館の匠に、名付けて『移動式高床畑?』を作成してもらおうことになりました。

車椅子が入って手が届く、上から水をまいても膝にはかからない、向かい合わせに複数で一緒にできる広さ、段差のない場所に移動できるという願いをすべて叶えてくれた畑が



完成しました。

車椅子からの水やりも楽に行えるようになりました。畑が移動できるようになったことで、これまで参加できなかった利用者さんも参加できるようになりました。

これまで交流が少なかった他のユニットの方とも畑を囲んで、植えている野菜や花の話からいろいろな話に発展し、屋外で過ごす時間も増えました。

「今までできなかったことができようになった」とか「園芸活動に参加することができてとても嬉しい」という声を聴けたことも、育てた野菜とともに大きな収穫でした。

障害者支援施設 山郷館グループ

葛飾福祉館との交流

7月26日から7月29日の4日間、昨年に続き『葛飾福祉館』より小学生ならびに施設職員合わせて14名がワークキャンプのために『山郷館』を訪れました。

『葛飾福祉館』では地域福祉活動の一環として、地域の子ども達と施設の職員が障害者施設での奉仕活動を通して福祉の心を学ぶために活動しています。

今年の『山郷館』での4日間のワークキャンプでは、車椅子やリフ



ター体験、山郷館夏祭りへの参加、『弘前市障害者生活支援センター』への訪問をしました。今回は、昨年へに続いて参加している方もおり、利用者さんの中には知っていた方も多く、打ち解けるのも早かったようでした。最終日にはお別れ会でハンドベルの演奏や歌を披露していただき、感動のお別れとなりました。今回の活動で『葛飾福祉館』の職員の皆様に、私達はたくさん学ばせていただきました。

子供たちを連れて、遠く離れた地でのキャンプということでしたが、皆さんが安全に楽しい活動を行うための職員同士の連携する姿が印象に残りました。

4日間を終わってみると、とても短く感じられました。このキャンプが今後も続くことを願います。

障害者支援施設 旭光園グループ
休日は、思いっきり
エンジョイ

『旭光園』で生活されている利用者さんは、休日は思いっきりエンジョイ、みなさん自由に楽しく過ごしています。

平日は、各部門ごとに作業をしています。休日は、各々が外食・ショッピング・旅行や趣味を楽しんでいます。今回はその中からいくつかを紹介いたします。

Kさん(女性)は、午前納豆作り、午後はレジパツクの製造作業



を担当し、複数の違う作業を行い、忙しく働いています。休憩時には、チラシを見たり、テレビを見て情報を集め、週末の外出を計画します。御本人の話では、

「今週は洋服、来週は日用品、その次は外食」と、計画を立てて、月に三〜四回外出しているそうです。

また、Sさん(男性)は、作業が終わってから、夕食と晩酌を兼ねて外出します。仕事帰りの一杯です。

他には、新幹線やホテルを予約してコンサートを鑑賞する旅行をしている方もいます。

旭光園の皆さんは、上手に時間を使い、仕事も余暇も、エンジョイしています。

